

ねん がつ にち  
2022年11月20日

おう しゅじつ  
王であるキリストの主日

きくち いさおだい しきょう  
菊地 功大司教 メッセージ

「他人を救ったのだ。もし神からのメシアで、選ばれたものなら、自分を救うがよい」

このイエスをあざける議員たちの言葉こそが、王であるキリストとはいったい何者であるのかを、明確に示しています。

全世界の王である神は、自分自身の誉れのために、自分自身の欲望を満たすために、皆に仕えられる存在ではなく、自らがいのちをあたえた全ての人を救うために、自分を犠牲にする王であることを、議員たちは凶らずもあかししてしまっています。

加えて、議員たちは、自らの願望を神に投影して、その願いを満たさないものを神と認めないという本末転倒の過ちを犯してしまいます。神はご自分からその姿を示すものであって、人間の願望を満たすための存在ではありません。

時として私たち自身も同じような思い違いをしてしまいます。自分が願っていることが適わないときに、神の存在を疑ってみたり、さらには神をののしってみたり、自分自身の願望を叶えるために神を利用しようとしたりするのが私たちです。時に自らの願望を神に投影しようとしたりします。いったい神と私たちと、どちらが世界を支配するものなのでしょうか。

思い違いをしている私たちを目の前にしても、神は常にご自分のありのままであり続けられます。口を閉ざしてあざけりに耐え、いのちを賭してまで、仕えるものであろうとされます。世界を支配する王であるキリストは、私たちがその模範に倣い、常に仕えるものであろうとすることを求めています。自分の願望や欲望を満たすためではなく、他者のいのちを生かすために行動することを求めています。

王であるキリストの主日は、世界青年の日と定められています。教皇様は来年リスボン

かいさい せ かいせいねんたいかい し や せいねん きょうかい あゆ つづ よ  
で開催される世界青年大会を視野に、青年たちに教会とともに歩み続けるように呼びか  
けます。ことし 今年のメッセージのテーマはルカ福音書からとられた、「マリアは出かけて、急  
いで・・・行った」とされています。きょうこうさま 教皇様はメッセージで、「マリアが急いで出かけ  
たように、かみ とくべつ めぐ う ひと はそれをわ 分かち合うために急いで出かけるので  
す。それはじぶん ひつよう よりも たしや ひつよう ゆうせん 他人の必要を優先することができる人の急ぎです。・・・マ  
リアはであ い わ 分かちあ かいと ほうし う 生まれる じゅんすい 純粋なつながりを見出すために出かけた  
のです」と述べています。

わたし であ なか わ あ たす あ あゆ つづ  
私たちも、出会いの中で分かち合い助け合っとも歩み続けるものでありましょう。